

2014年4月20日 主が生きておられるから

ブライアン・ブルエット牧師

導入

30年ほど前、私たちはフロリダ州のオーランドに住んでいました。当時通っていた教会の牧師から、空港にある人を迎えに行ってほしいと頼まれました。迎えに行く相手が、「キリストは神か偽善者か？」など多数の著作で知られるクリスチャン作家ジョシュ・マウドウェルだと聞いて驚きました。ジョシュ・マウドウェルはもともと無神論者でした。あるとき、神がないことを証明しようと研究を始めましたが、その中で、神は彼に語られました。そして、Evidence that Demands a Verdict（評決を要する証拠、未邦訳）という本の著作中にクリスチャンになりました。彼を迎えて車を走らせていると、墓地を通り過ぎました。ジョシュ・マウドウェルは、独身時代に墓地でデートをしたと言ったので、またこれにも驚かされました。このメッセージを準備しているときに、墓地に埋葬されている人が私たちに話しかけることができたらおもしろうだろうな、とふと思いました。そこで、私は出席を取ります。「ブッダさん」と名前を呼ぶと、ブッダが「はい」と答えます。そのあと、孔子がいることを確かめ、モハメッドがいることも確かめます。そしてキリストの墓に行き、出席を取ります。すると返事がありません。「イエスさん」。沈黙です。すると突然近くの墓の人が、「主はおられません。主はよみがえられました」と叫ぶのです。復活の日曜は、イエス・キリストのこの世での働きのクライマックスです。イエスが生きておられることを知るのはどうして大切なのでしょうか。その理由はたくさんあると思いますが、4つを挙げましょう。

1. 主が生きておられるので、私には愛がある。ヨハネ第一 4:9

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

イエスをとおして神の愛が私たちに示され、このお方によって私たちは生きることができると、この箇所は語ります。私たちが永遠の命を得るのは、自分自身の努力や素質によらず、イエスの犠牲のおかげなのです。では、復活に愛があるとはどういう意味でしょう。神は愛の模範を私たちに示されました。神は愛することで私たちに最高の模範を示してくださいましたので、私たちはその模範に倣うべきです。

10節

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

この部分をもう少しわかりやすく説明しましょう。私たちの罪のために、なだめの供え物として御子が遣わされました。ここに愛があるのです。なだめの供え物とは何でしょう。皆さんは、商品引換券を集めて商品と交換したことがありますか。私の母は、引換券をたくさん集めて、ついには家の新しい照明に換えました。このみことばでは、イエスが私たちのなだめの供え物となられたことで、ご自身の命と引き換えに私たちの罪の支払いをしてくださり、私たちは新しい命を得るといわけです。

ヨハネ第一4:11

愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。

11節は、私たちもまた互いに愛し合うべきだと語ります。これは、自分のニーズや希望を捨てることで、互いを建て上げるべきだという意味です。無情でとげとげしい態度はすべて神の愛に取って代わられなければなりません。傷つき愛を求めて教会に来たなら、空の墓のもとへ来てください。けれども、まず十字架のもとに行く必要があります。神が示してくださった愛の模範に倣った生き方を私たちはすべきです。それは、互いへの愛を示す生き方です。私たちが愛を最優先させることを神は望んでおられます。ヨハネの福音書で、「愛」という単語およびそこから派生したことばは57回も登場します。私たちの愛は、人に対して親切や寛容、奉仕などの行動で示されるべきです。

2. 主が生きておられるので、私にはいのちがある。 ローマ 6:4

それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。

キリストの死と埋葬と復活がなければ、私たちに新しい命はありません。私たちの古い命が主とともに葬られたからこそ、新しい命が与えられるのです。皆さんにお聞きします。なぜ私たちはいまだに古い人のようにふるまっているのでしょうか。

5節

もし私たちが、キリストにつき合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。

6節

私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。

6節も、古い罪の性質は死ななければならないと語ります。私たちは古い体で生き続けていますが、罪を犯す傾向はなくなるべきです。コリント第二5:17

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

青虫が蝶に変わるように、古いものは過ぎ去って、新しくなりました。蝶がまた青虫に戻るでしょうか。私たちは新しい命にふさわしく生きるべきです。私たちの生き方は変わらなければなりません。この新しい命の一面として、御霊の実が現れるべきです。

ガラテヤ5:22,23

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、5:23 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

その実とは、新しい命から生じる生産性の象徴です。

3. 主が生きておられるので、私には希望がある。 ペテロ第一 1:3,4

1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。1:4 また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。

復活による生きた希望。この希望は、今日も明日も永遠までも私たちのものです。希望とは、樂觀とは違います。むしろ、強い確信です。皆さんは何かを希望したことがありますか。私は幼いころ、誕生日にクレーン車のおもちゃを欲しいと思いました。ほしい、ほしいとずっと望みました。そして誕生日の日、大きなプレゼントの包みを開けると、私が望んでいたクレーン車のおもちゃが入っていました。それを見たとき、私は両親に、「これがずっと欲しいと思っていたんだ」と言いました。イエスの復活のおかげで、私たちは自分自身の復活についても強い確信を持てます。希望とは、この世のあらゆる悩みや困難の向こうに、永遠に受け継ぐものを見ることです。ここで受け継ぐ資産と訳されたギリシャ語の単語は「クレロノミア」です。

これは、「受け継ぐべき資産の証書を私は持っている。さらに、神が私をつかまえてくださる」という意味です。私たちには、永遠を約束する証印が押されているという確信もあります(エペソ1:13)。

この方であってあなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。

大阪に来る前、私はホスピス（終末期医療施設）専属の牧師として仕えていました。私の任務はいたってシンプルです。人々が死を迎える準備をお手伝いするのは、イエスを信じる信仰に導いた人のお葬式を数日後に執り行うというのも珍しいことではありませんでした。私の仕事は、死の恐怖を神は取り去ってくださるという事実を説明することでした。イザヤ25:8

永久に死を滅ぼされる。神である主はすべての顔から涙をぬぐい、ご自分の民へのそしりを全地の上から除かれる。【主】が語られたのだ。

私はこのみことばが大好きです。死が永久に滅ぼされ、神がすべての顔から涙をぬぐってくださるのです。そう、主が生きておられるので、私には希望があります。

4. 主が生きておられるので、私には力がある。使徒1:8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

イエスは生きておられます。私たちのうちにおられる聖霊をとおして、私たちは復活の力によって生きることができます。イエスは天に昇って行かれましたが、私たちをこの世に置き去りにされたわけではありません。私たちは神の御力の中に生きることができます。その力をあらゆるかたちで実感することができます。日常生活でも、神のみことばが力強く心に語りかけるのを私たちは知っています。ヘブル4:12

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

聖霊には、罪を私たちに示す力があります。わかりやすく説明していきましょう。イエスが神でなかったら、弟子たちに聖霊を送るとおっしゃったのは、まったくのたわごととなります。けれども、イエスは神です。そして、聖霊は今、私たちの慰め主としてここにおられます。自力で人生を切り開こうとしないでください。聖霊が私たちの上に臨まれるとき、私たちは力を受ける、とイエスはおっしゃいました。これは、説得力のある方法で福音を伝える力が与えられるという意味です。また、人生の試練を乗り切る力が与えられるという意味です。さらに、キリストの花嫁とされた事実にあふさわしい歩みをする力も与えてくださいました。つまり、この世に汚されてはならないということです。主は、清く正しい生き方をする力を私たちに与えてくださいます。

花嫁になったことがある人はいますか。その日がどれほど特別な日だったか覚えていますか。素敵なウェディングドレスに身を包み、髪の毛から爪の先まで最高に美しかったことでしょうか。その日のために準備をするのです。式の当日、式を挙げる教会に向かう途中、ゴミ置き場に思いっきりダイブしたらおかしいでしょう。神は私たちをご自身の花嫁として召してくださいます。そして、最高に美しい状態でいてほしいと願っておられます。ですから、私たちがわざと神の喜ばれ

ないことをするなら、それはゴミ置き場に飛び込んでいるのと同じことです。神が造ってくださった最高に美しい姿でいることを、神は花嫁に望まれます。

結び

最後に、重要なポイントを振り返ってみましょう。キリストはよみがえられました。このお方は神です。今日学んだ通り、主が生きておられるので、私たちは愛されていることを確信し、人を愛することができます。主が生きておられるので、私たちに命があります。その命をもってキリストを表しましょう。主が生きておられるので、希望と力があります。イエスを死からよみがえらせたのと同じ力を、私たちの人生に働かせることができるのです。イエスのこの世の人生と人類の歴史のクライマックスに、私たちはどう応答するでしょうか。忘れないでください。私たちはキリストの花嫁です。ですから、人生をかけて、イエスの神聖さと清さを映し出す生き方をしなければなりません。「主が生きておられるので」、私たちはそうすることができます。